保健だより

スマイル

別海町立上春別中学校
平成28年 6月24日(金)
2年生用 文責 佐藤

エキノコックス症検査について

エキノコックス症とは、エキノコックスという寄生虫が主に肝臓に寄生しておこる病気で、北海道では毎年10人程度の患者さんが見つかっています。

検査当日は腕から少しだけ血をとって、エキノコックスという虫がみんなの体の中にいないかどうかを調べます。

6月27日(月) 9:45～ 2年生 保健室にて

出席番号順

町立別海病院による採血です。

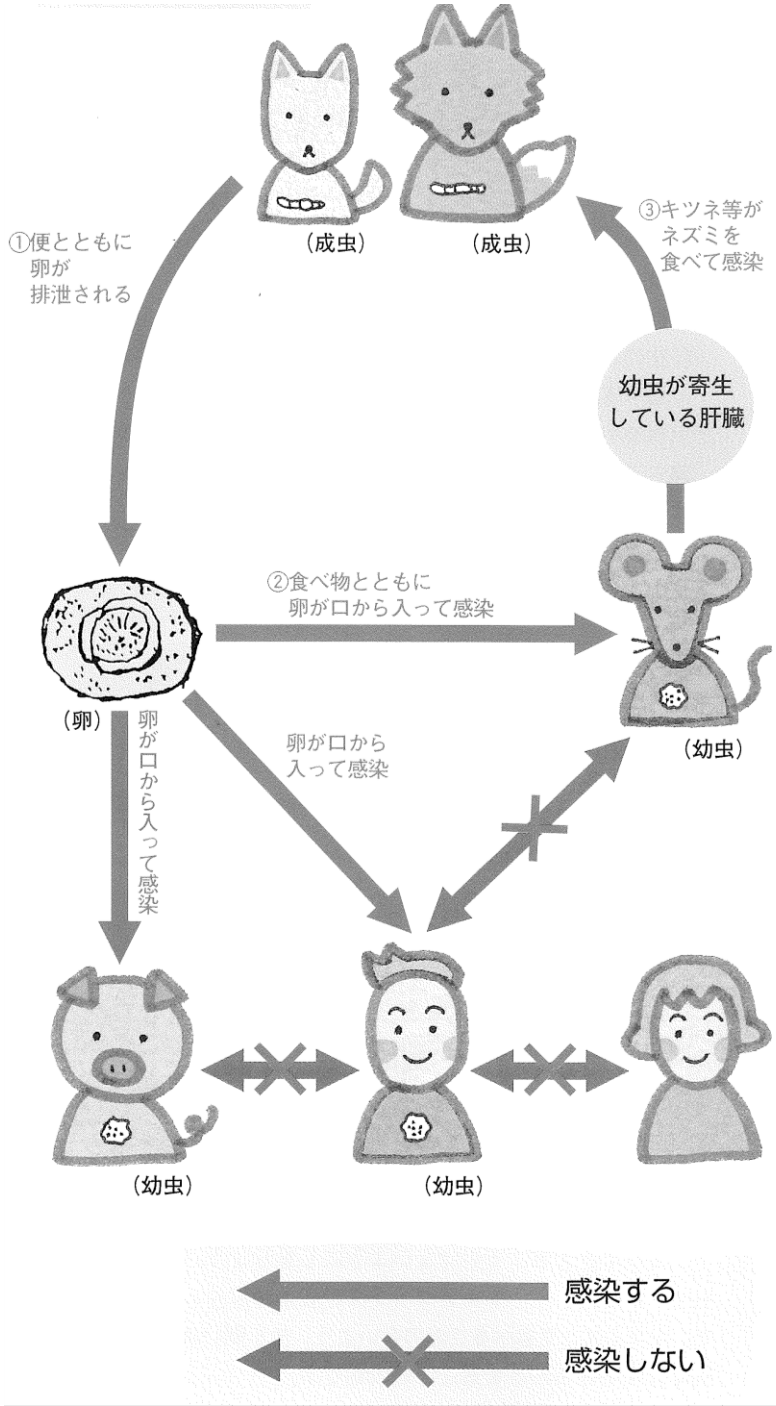
※各校巡回検診のため、時間が前後する可能性があります。

準備すること

・前日はお風呂に入って、体を清潔にしておきましょう。

・腕をすぐに出せる服装で保健室に来ましょう。
(Tシャツ等)

エキノコックスは野生のキツネなどのお腹の中に住んでいます。 人の体の中では、エキノコックスは成虫にならず、幼虫のまま肝臓で少しずつ大きくなっていきます。

エキノコックスが寄生しても、すぐには自覚症状がなく、数年から十数年の潜伏期があります。 できるだけ早い時期に発見することが大切です。

～エキノコックスの寄生サイクル～